

## 第6学年 理科「生物どうしの関わり」

### 本單元における学習者用端末の利活用

○手だて

- ・環境に関する課題や解決策を調べる活動を通して、自分たちに合ったアプリケーションを活用し、「持続可能な社会」に向けて自分たちの考えや思いを表現しようとする。→個別最適な学び
- ・各グループや個人で調べてまとめた資料を発表する機会や意見交流を通して、「持続可能な社会」に対する課題意識をもつことができるようにする。→協働的な学び

○使用したアプリやコンテンツ

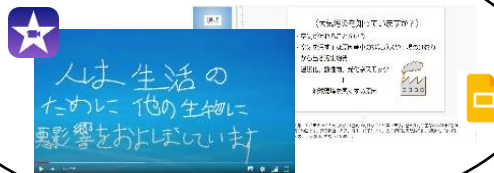


### 本時の展開

【ねらい:持続可能な社会の構築に向けて、調べ学習に進んで取り組み、課題解決しようとしている。】

	分	主な学習活動
導入	5	1 前時までの学習を確認する。 ・生物が生きていく上で水や空気、その他の生き物等の環境が必要不可欠である。
展開	35	2 人が環境に与えている影響について知る。 ・地球温暖化 ・大気汚染 ・水質汚染 ・海洋汚染 ・森林破壊 「持続可能な社会」に向けて、自分たちができることを考えよう。 3 環境に関する課題や解決策を調べたり、自分たちに合ったアプリケーションを活用したりして自分たちの考えや思いを資料にまとめる。
まとめ	5	4 次時の学習内容を確認する。

<学習者用端末の利活用



### 成果と課題

- ・「生物どうしの関わり」の学習を生かし、自分たちの思いや考えを伝え合うという学習の見通しを明確にしたことで、調べてまとめていく学習活動に対して意欲的に取り組む児童の姿が見られた。
- ・児童の考えや思いを表現する上で学習用端末の利活用は簡単に分かりやすく可視化することができ、とても有効であった。
- ・目的に合わせて多くの情報を整理・分析する力や適切にまとめる力を身に付ける指導をしていく必要がある。